

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S01-01-01		
施設名	荒川さつき会館				
所在地	荒川八丁目16番13号				
部課名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成元年 422,749	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成元年4月1日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成元年6月1日		職員数	4	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	2階	
面積	敷地面積		2,209.16㎡		
	延床面積		1,499.58㎡		
設置目的・経緯	人権施策の推進を図るとともに、地域住民の相互交流及び自主的活動を促進し、区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川さつき会館条例				
駐車場の状況	5台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	19台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	その他	一部委託 (管理業務・清掃業務)	期間	平成元年	から	
					まで	
事業内容	(1) 人権問題に係る啓発に関する事業 (2) 区民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に係る事業 (3) 区民の学習・文化活動及びスポーツの振興等に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業					
対象者	区内在住・在勤・在学の方 (団体利用は事前の団体登録が必要)					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時 (施設予約のみ8時30分から)				
	休日	原則として、年末年始 (12月29日～翌年1月3日)				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (見込み)
	年間利用者数 (数)	10,324	27,780	31,178	34,511	36,000
	年間利用可能日数 (日)	147	348	350	355	351
	年間団体利用件数 (件)	726	1,372	1,560	2,116	2,200
	部屋別団体利用回転率 (%)					
	体育室	79	67	80	84	77
	会議室・講習室・視聴覚室・和室	10	8	8	16	11
に指定 等管理 費用						
備考	令和4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のための利用制限の解除等により、利用者数等が回復した。令和5年度は、登録団体の体育室利用件数が令和4年度に比べ150件以上増加したことにより、年間利用者数・年間団体利用件数が増加した。令和6年度もシルバー大学の一時的な利用もあり利用数が増えている。					

III 財務諸表

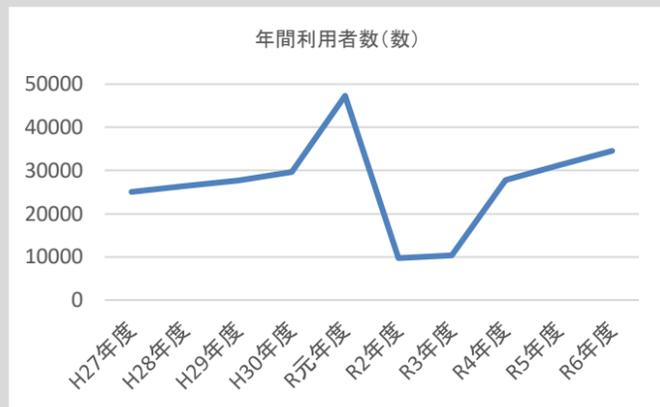
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
	給与関係費	12,589	29,458	16,869	地方税等	0	0	0
	物件費	12,173	13,617	1,444	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,147	2,246	1,099	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	326	335	9	使用料及び手数料	1,104	1,017	▲ 87
	減価償却費	12,196	12,196	0	その他	169	203	34
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	1,273	1,220	▲ 53
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,589	4,217	2,628	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 38,747	▲ 60,849	▲ 22,102
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	40,020	62,069	22,049	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 38,747	▲ 60,849	▲ 22,102
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 38,747	▲ 60,849	▲ 22,102	
貸借対照表	勘定科目	R5年度	R6年度	差額	勘定科目	R5年度	R6年度	差額
	流動資産				流動負債	741	1,857	1,116
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	741	1,857	1,116
	有形固定資産	1,134,099	1,146,004	11,905	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,085,884	1,085,884	0	固定負債	6,096	12,680	6,584
	建物	439,065	463,166	24,101	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 390,850	▲ 403,046	▲ 12,196	退職給与引当金	6,096	12,680	6,584
	工作物等	10,233	10,233	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 10,233	▲ 10,233	0	負債の部合計	6,837	14,537	7,700
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,127,262	1,131,467	4,205
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,127,262	1,131,467	4,205	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,134,099	1,146,004	11,905	
資産の部合計	1,134,099	1,146,004	11,905					
備考	令和6年度は、管理業務、清掃業務委託費の上昇と、施設維持のための修繕が令和5年度に比べコストがかかった。また、屋上防水改修工事等による固定資産の増があった。行政収入のその他は、自販機の設置使用料収入やレーザークラフト教室の参加費収入である。							

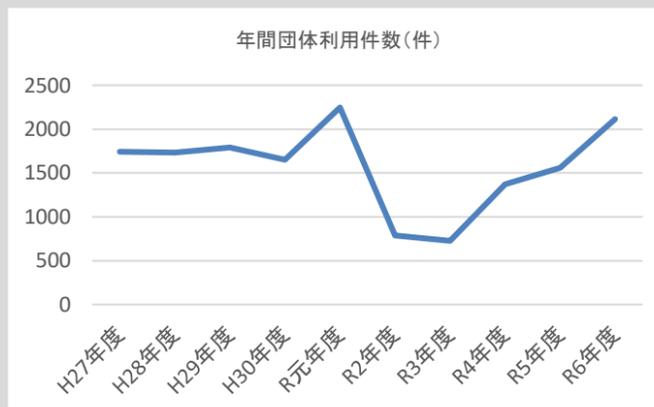
指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	87	89	87.3	
	1㎡当たりコスト(円)	35,319	26,673	26,687	41,391	
	人にかかるコストの割合(%)	28	32	35	54.3	
	受益者負担比率(%)	1	3	3	1.6	
	利用者1人当たりコスト(円)	5,130	1,440	1,284	1,799	
	開館1日当たりコスト(円)	360,299	114,937	114,343	174,842	
備考	令和6年度の人員体制や工事に伴う固定資産の増等による変化が現れている。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	団体利用回転率	目標値				24
		実績値	25	20	22	30
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 令和7年度から土曜日の施設予約等を委託化した。) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	人権啓発の推進のための拠点、地域住民の相互交流及び自主活動の場として必要性は高い。					
現状・課題	○人権施策推進の拠点及び地域住民の相互交流としての会館づくり 人権問題に対する垣根を取り払えるような会館づくりを行うとともに、地域住民の相互交流の場としての役割を果たしていく必要がある。  ○利用率の向上 施設の利用率向上に向けて、更なる有効活用を図る必要がある。  ○施設の老朽化 開館から35年以上経過し、施設の老朽化とともに、施設内の設備や備品も劣化してきている。					
課題に対する現時点での考え	○人権施策推進拠点として、人権問題を身近な問題として考えてもらえるような啓発・相談事業を引き続き行っていく。また、地域の交流拠点としての在り方について検討していく。 ○体育室以外の各室の利用率向上のため、PR方法などを検討していく。 ○施設の老朽化及び施設内の設備や備品の劣化については、改修や修繕、買替え等を計画的に行っていく。					
議会、利用者等からの意見	平成22年1定 さつき会館のふれあい館化について					



令和6年度は、シルバー大学の代替教室や児童室の子ども利用により増加した。



令和6年度は、体育室の利用率の高さとシルバー大学の利用により件数が増加した。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S01-01-02		
施設名	男女平等推進センター（アクト21）				
所在地	東尾久五丁目9番3号				
部課名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成8年			
	増改築①				
増改築②					
併設施設	熊野前ひろば館				
竣工年月日	平成8年3月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成8年7月	職員数	3	0	
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上3階・地下2階		
面積	敷地面積	1031.56㎡			
	延床面積	1468.65㎡			
設置目的・経緯	女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現をめざすための拠点とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立男女平等推進センター条例、同施行規則				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から — まで	
事業内容	(1)男女平等の推進に係る講演会及び講習会の実施に関する事業 (2)男女平等の推進に係る図書及び資料の収集並びに利用に関する事業 (3)男女平等の推進に係る相談に関する事業 (4)男女平等の推進に係る団体及び個人の相互交流に関する事業 (5)地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に関する事業 (6)前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業					
対象者	一般区民、男女平等推進団体、区職員他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、定期清掃日（年4回）				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（見込み）
	年間利用者数（人）	41,357	51,990	43,626	50,829	51,337
	年間利用可能日数（日）	355	355	355	355	355
	年間貸出施設利用件数（件）	1,795	2,493	1,606	1,695	1,711
	相談件数（件）	241	279	204	247	271
に指定 等管理 費						
備考	年間施設利用者数の推移について、コロナ禍において、4年度は、創作室が1年間PCR会場となったこと（5年度5月上旬終了）、6年度は、工事等による他施設からの利用団体の施設利用があったため、利用者数・貸出件数が増加した。					

III 財務諸表

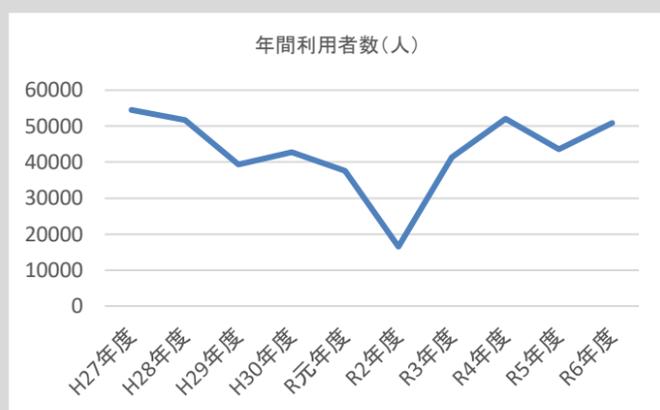
(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	22,255	24,038	1,783	地方税等	0	0	0
	物件費	24,464	27,645	3,181	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	3,057	3,503	446	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3,244	3,648	404	使用料及び手数料	4,276	3,562	▲ 714
	減価償却費	25,952	26,882	930	その他	78	82	4
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,354	3,644	▲ 710
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,809	3,441	632	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 77,427	▲ 85,513	▲ 8,086
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 5	▲ 4	1
	行政費用合計(b)	81,781	89,157	7,376	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 77,432	▲ 85,517	▲ 8,085
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 77,432	▲ 85,517	▲ 8,085	
貸借対照表	流動資産				流動負債	2,808	3,014	206
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	1,499	1,499	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,309	1,515	206
	有形固定資産	884,516	874,455	▲ 10,061	その他の流動負債	0	0	0
	土地	636,112	636,112	0	固定負債	19,781	17,851	▲ 1,930
	建物	975,067	991,887	16,820	特別区債	9,004	7,504	▲ 1,500
	建物減価償却累計額	▲ 726,662	▲ 753,544	▲ 26,882	退職給与引当金	10,777	10,347	▲ 430
	工作物等	7,279	7,279	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 7,279	▲ 7,279	0	負債の部合計	22,589	20,865	▲ 1,724
無形固定資産	0	0	0	正味財産	861,927	853,590	▲ 8,337	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	861,927	853,590	▲ 8,337	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	884,516	874,455	▲ 10,061	
資産の部合計	884,516	874,455	▲ 10,061					
備考	6年度は、汚水ポンプ修繕などの家屋等修繕が増加したほか、3階空調設備工事を行ったため、維持補修費や固定資産（建物）額が5年度より増加している。また6年度は、工事等により他施設からの利用団体による施設利用があったが、施設使用料は前年度（5年度）に収納したため、行政収入（使用料及び手数料）が5年度と比して減少している。							

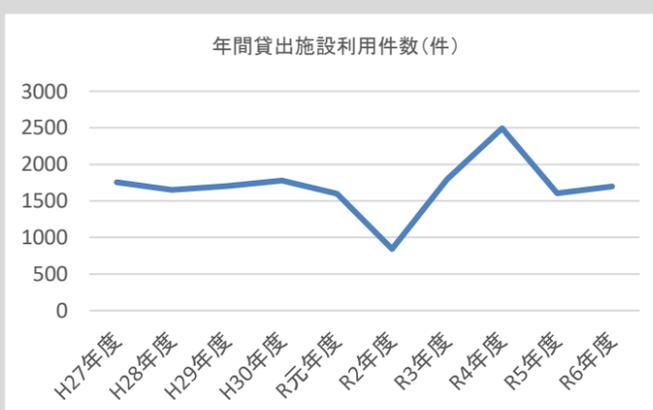
指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	70	73	75	76.1	
	1㎡当たりコスト(円)	53,304	52,834	55,684	60,707	
	人にかかるコストの割合(%)	33	29	31	30.8	
	受益者負担比率(%)	4	6.0	5	4.0	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,893	1,492	1,875	1,754	
	開館1日当たりコスト(円)	220,521	218,577	230,369	251,146	
備考	6年度は5年度に対し、1㎡当たりコストが5,023円増加、開館1日当たりコストが20,777円増加している。主な理由は、男女共同参画推進講座の新規開始に伴う委託料や施設利用の増加に伴う電気代等の物件費が増加したことによる。また、利用者1人当たりのコストは121円減少している。これは、施設利用者数の増加による。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	施設利用回転率(%)	目標値			36	35
		実績値	34	48	32	38
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	男女共同参画に関する啓発・相談や男女共同参画の拠点として、区民相互の交流を推進する独立したコミュニティ施設を確保する必要性は高い。					
現状・課題	○事業や施設をよりPRできる方法の検討 令和3年度はコロナワクチン接種会場、令和4年度はPCR検査会場として利用したことに伴い、行政収入が増加した。これにより今まで施設を知らなかった人へのPRになった。最近では、今まで使用していた施設が工事で使えないという理由で利用する団体が増えている。区民相互の交流を推進するコミュニティ施設の役割も担っていることから、より広く区民に実施事業や施設をPRしていく必要がある。 ○施設の老朽化 有形固定資産減価償却率が年々上昇している。平成8年の開設から29年が経過し、経年劣化による修繕の必要箇所が増えているため、今後、大幅な維持補修費の増加が想定される。					
課題に対する現時点での考え	○施設を使用する新規団体について継続利用につなげていくとともに、利用件数・利用者数の増加を図るため、引き続き、新しい施策・PRを考えていく。 ○利用者の安全性や利便性を確保しながら、計画的に改修・修繕に取り組んでいくほか、老朽化に伴う緊急の修繕が必要になった場合は、迅速に対応していく。					
議会、利用者等からの意見						



2年度は2か月間休館や施設使用制限等のため、利用者数が減少した。3年度は2か月間コロナワクチン接種会場、4年度は創作室が1年間PCR会場となったため、利用者数が増加した。



2年度は2か月間休館や施設使用制限等のため、利用件数が減少した。3年度は2か月間コロナワクチン接種会場、4年度は創作室が1年間PCR会場となったため、利用件数が増加した。